

☆ 韓 国

炭素繊維

サムスン、SGL と合弁会社設立へ

韓サムスンは独炭素繊維メーカーSGL グループと折半出資し、炭素繊維複合材料を軸とした合弁企業 Samsung SGL Carbon Composite Materials を設立することを明らかにした。最近ではスマートフォンなど電子機器の筐体で炭素繊維が使われることもあり、これによりサムスンは炭素繊維の安定的な調達が可能となる。

7 月半ばまでに設立の契約を締結し、当局が認可した後、早急に事業を開始する計画。

☆ ベトナム

化繊設備

暁星、スパンデックスを増設へ

韓国の合繊メーカーの暁星は、ホーチミン近郊の Dong Nai 省のスパンデックス工場の増設を行う意向を明らかにした。同工場の設備能力は年産 1.5 万ト。増設幅は明らかにしていないものの増設は 2 期に分けて行われ、第 1 期は 8 月、第 2 期は 11 月に完成する見込み。

同社はベトナムのほかにも韓国、トルコ、ブラジル、中国でスパンデックスを生産しており、同社のスパンデックス生産能力は、全世界で年産 14.2 万ト、2013 年中に 15 万トまで引き上げる目標を掲げ、トルコ工場でも増設を計画している。

☆ 米 国

工場閉鎖

DAK Americas、Navassa の工場閉鎖へ

DAK Americas は、9 月に North Carolina 州 Navassa にあるポリエステル短繊維およびボトル用 PET 樹脂工場を閉鎖する計画を明らかにした。同工場は 1960 年後半に DuPont の工場として建設された後で、2001 年に同社に買収されたもの。工場閉鎖により 600 人の従業員が解雇される見通し。

DAK Americas はメキシコ最大手石油化学企業 Alpek の子会社で、North Carolina 州を拠点に PET 樹脂、ポリエステル S、PTA、特殊ポリマー、環境配慮型ポリエステルを展開している。

以上